

平成 31 年度 事業計画 基本方針

2019年、企業においては、AI時代への適応具体化が求められる年になると言われています。また、社会は人口減少という深刻な事態に直面し、人手不足が常態化する中、生産年齢人口は年間約 50 万人減少しています。本格的な超高齢社会に入り、体力などに応じた緩やかな働き方を大切にしたシニアの力をどう生かすかが課題にもなっています。

このような様々な社会状況の中において、地域社会への貢献（地域社会の維持・発展、現役世代の下支え、人手不足対応等）や高齢者の生活の充実（生きがい、健康等）、地域の担い手の面からもシルバー人材センターへの期待もより大きくなっています。

将来を見通し、コンプライアンスの遵守、シルバー人材センターの理念（自主・自立、共働・共助）およびシルバー人材センター事業の根幹である“安全はすべてに優先する”の基に、地域社会に適正就業ガイドラインのご理解を頂きながら、地域に密着した就業を通じて、より地域社会に貢献し、より信頼を高めることを目指さなければなりません。

役員・会員・事務局が一つになり、行政各関係機関、地域関係各位からのご指導と連携の基に、地域社会への貢献を通じて、地域社会から期待され高く評価される公益社団法人佐用町シルバー人材センターを目指し最善を尽くします。

会員の皆様をはじめ関係各位のより一層のご理解、ご指導、ご協力をお願いいたします。

I. 会員数の拡大

会員数の拡大は、高齢者の就業機会の拡大、生きがいの創出、地域社会の活性化を目的とするシルバー事業の根幹をなす課題です。女性会員の拡大も、就業分野の拡大とともに重要な課題です。

1. 随時の入会説明、随時の入会受付を継続します。
2. 口コミ活動の推進により、会員・役職員が会員を増やす意識で取り組みます。
3. 女性会員の就業機会の増加が見込まれる中、女性会員の更なる入会を推進します。
4. 会員にとってより魅力あるセンターを目指します。

II. 安全就業の徹底

シルバー事業の基本である「安全はすべてに優先する」との認識を徹底する必要があります。会員の安全に対する意識を更に高め、事故ゼロ運動を強力に推進します。特に重篤事故をゼロにする強い決意で臨みます。

1. 安全は、シルバー事業の基盤でありすべてに優先することを会員に周知徹底します。
2. 安全用具の確実な着用の徹底を図ります。
3. 安全パトロールをより強化し、事故ゼロを目指します。
4. 会員一人ひとりが安全への責任を持つという意識を醸成します。
5. 安全作業に向けた講習会を開催します。
6. 健康講座を開催し、会員の健康面での支援を行います。
7. 推進員、班長等から就業会員に、安全就業への注意喚起と情報共有を徹底します。
8. 会報、安全ニュース等を活用した周知活動を行います。
9. 安全就業推進大会を開催し安全就業第一の意識の共有を図ります。

III. 就業機会の確保拡大と適正就業の推進

就業機会の確保拡大は、会員数の拡大とともに大切な課題です。地域のニーズに対応すべく、会員の技能知識の向上と適合する就業機会の確保に努めます。同時に、利用者・会員へ適正就業ガイドラインのご理解と周知に継続的に取り組みます。

1. 口コミによる仕事の開拓にも取り組みます。
2. 派遣事業をさらに推進します。
3. ボランティア活動などを通じ、センターのPR等に努めます。
4. 適正就業ガイドラインの周知に努めます。
5. 発注者への迅速丁寧な対応を行います。
6. 受注した仕事を丁寧に仕上げます。
7. 会員の知識技能の向上に努めます。

IV. 地域内の連携強化

シルバー人材センターへの期待は大きく、地域ニーズに対応していくことが求められています。地域自治体をはじめ、地域の様々な団体等との連携が一層重要です。

1. 自治体や自治体関連団体との連絡協調に努めます。
2. 地域社会の要請に対応できる安心と信頼の事業運営に努めます。
3. 兵シ協や各センターとの連携を強化します。